

平成 28 年 4 月 4 日

愛媛県知事 中 村 時 広 様
今治市長 菅 良 二 様

公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団会長
前アステラス製薬（株）代表取締役会長

竹 中 登 一



拝啓 初春の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

さて、昨年の暮れに国家戦略特区の第三次指定として愛媛県今治市と広島県が区域指定を受けられました。その提案内容のうち貴県及び貴市において「獣医学部の新設」が提案されています。私は、（公財）ヒューマンサイエンス振興財団会長として、また文部科学省の「獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」の前委員として、第三者の立場から新設獣医系大学の設立を希望しています。

私が 50 年間勤務した製薬企業においては、現在、国際的に獣医学出身者が種々な職種で活躍しています。獣医学をバックグラウンドにしたサイエンティストは、これからも製薬企業に是非欲しい人材です。ライフサイエンス分野は、今後の成長が見込まれることから、アベノミクス成長戦略の健康医療戦略でも重点分野として推進されています。今後もライフサイエンス分野で、獣医師がしかるべき役割を担うことは必然であるとも思っています。

世界の製薬企業で研究活動をし新薬創出（創薬）を行っている国は、日本、米国、英国、ドイツなど少数です。これらの国には、研究開発型グローバル製薬企業があり、かつ、獣医学研究レベルが高いからです。日本には、研究開発型グローバル製薬企業があり、アベノミクス成長戦略で医薬品産業を今後の成長産業として育成している環境では、今後も製薬企業にとって獣医師は必要不可欠な人材であります。

新設獣医系大学では二次臨床・産業動物、公衆衛生、研究者養成等に特化した分野や、ライフイノベーション拠点を目指すという説明がありました。今後のライフサイエンス分野の成長のために、新設獣医系大学が産業界が要望する獣医師の人材供給の拠点となることを願っております。また、そうした取組が地域の活性化にもつながるものと思います。

是非、私としましても、御地において新規の教育システムを持つ獣医系大学が創設されることを期待しております。

敬具